

# 議会だより

Vol.  
**182**  
2015.4.17



3月の  
定例会

② 3月定例会報告  
平成27年度当初予算が可決

⑫ 現地視察  
放射性廃棄物処理施設

⑥ スバリ!! 町政を問う  
2議員が質問

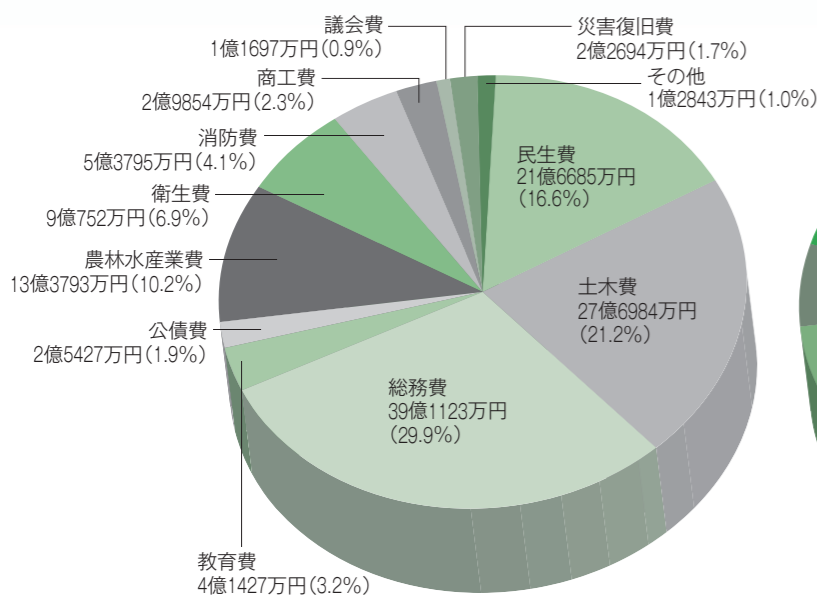
⑱ シリーズ 復興へのあゆみ

大きな希望をむねに／富岡小学校入学式(三春町)

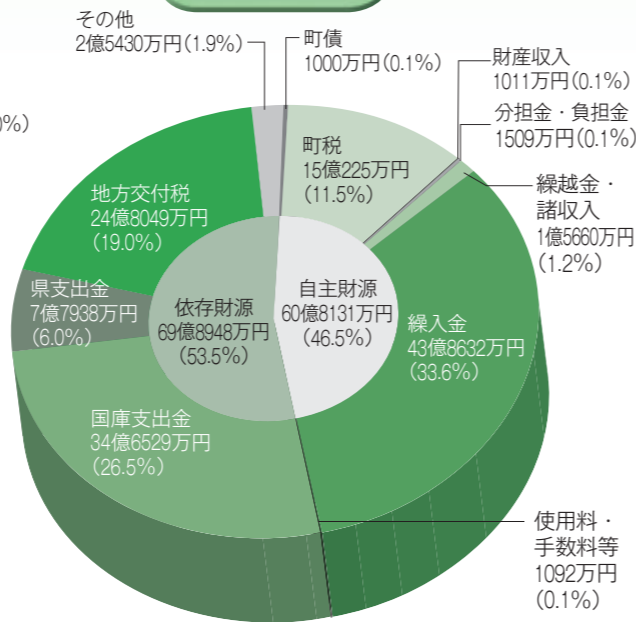
# 復旧・復興に向け、過去最大の大型予算を可決

## 一般会計 130億7079万円

### 歳出



### 歳入



### 定例会のあらまし

平成27年3月定例会は3月9日から13日まで5日間(11日は慰霊祭のため休会)の会期で開催しました。  
富岡町行政機構改革に伴う新たな課の設置等を定めた条例の改正案件や平成26年度補正予算、平成27年度当初予算など計40件の議案を慎重に審議し、全て原案のとおり可決しました。  
一般質問では2議員が登壇し、今後直面する課題や町政運営のあり方について伺いました。

### 《平成27年度の主な事業》

- 庁舎機能回復事業** 12億370万円  
富岡町役場本庁舎及び保健センターの機能回復工事に着手します。工事完了は平成28年度末の予定です。
- 見せる化事業** 1億9856万円  
ガンマカメラを利用して、除染した後の放射線量が確認できるようにします。
- 富岡町防犯防火パトロール事業** 1億9118万円  
**防犯対策事業** 8697万円  
消防団や警備会社による24時間体制での町内巡回警備及び防犯カメラの導入により、町内の防犯強化に努めます。
- 戸籍住民基本台帳広域交付事業** 3412万円  
コンビニで住民票の交付を受けられるシステムを構築します。
- コミュニティ推進事業** 8158万円  
**県内外避難者交流事業** 3260万円  
県内外に避難する町民の心の絆をつなぐために、サロンの運営やイベント等を開催します。
- 環境クリーン化事業** 5億円  
**鳥獣被害防止緊急対策事業** 1170万円  
町内の環境を保全するために、牛や豚等、遺骸家畜の衛生処理や有害鳥獣の捕獲を行います。
- 道路維持管理事業** 1億9950万円  
町道の適正な維持管理のために、路面の修繕や通行の支障になる倒木の除去等を行います。
- 仮設診療所整備事業** 6400万円  
町内の復興拠点に診療所を整備します。平成28年秋開所予定です。

#### 《庁舎機能回復事業 12億370万円》

**問** 役場庁舎の改修は帰還の意思表示ととられかねない。全体の流れの中で時期として早いのでは。

**答** 町長 帰還時期の判断は国等の外部からの力ではなく、除染状況等を町としてしっかり検証し、関係各所と協議した上で自らの判断で行います。庁舎の改修は長期に及ぶものであり、帰還時期を見定め、迅速な判断をする上で、今の時期に町の基盤となる庁舎の機能回復工事にとりかかる必要があると判断しました。

#### 《コミュニティ推進事業 8158万円》

**問** 復興公営住宅での自治会立ち上げのための支援は。

**答** 生活支援課長 県の委託を受けたコミュニティ交流員が入居者の顔合わせイベントを開催し、自治会の発足を支援しています。

**問** 富岡町民同士のつながりが希薄になることが懸念されるが。

**答** 生活支援課長 周辺町民とコミュニティを作る団体を支援するとともに、町職員もイベント等に積極的に参加します。



こんなことが

# 決まりました

## 条例

## 福祉計画の制定

### 町税などを減免

東日本大震災等の被害を受けた納税者等が納付すべき平成27年度の<sup>※1</sup>町民税や国民健康保険税、介護保険料などを前年度に引き続き減免します。

(全会一致・原案可決)

<sup>※1</sup>町民税は個人所得金額によって減免率が変わります。減免率は前年度と同様です。

### 4つの福祉計画を制定

子どもたちの笑顔と高齢者の安心を守るための4つの福祉計画を制定しました。

- ① 富岡町第2期障がい者基本計画・第4期障がい福祉計画

#### 《目標》

- 自立と社会参加への支援
- 地域生活への支援
- ② 富岡町新型インフルエンザ等対策行動計画

#### 《目的》

- 流行のピークを遅らせる
- ピーク時の患者数を減少させる

### ③ 富岡町子ども・子育て支援事業計画

#### 《重点施策》

- 相談体制の強化
- 子ども健康管理と検査体制の強化
- 絆づくり・歴史文化の継承の強化

### ④ 富岡町高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画

#### 《目標》

- 介護支援体制の整備
- 疾病予防・介護予防の推進
- 福祉と医療の連携
- 支えあい助けあいのまちづくりの推進
- 介護保険制度の円滑な運営

(全会一致・原案可決)

## 新たに拠点整備課を設置 生活環境課は安全対策課に

### ① 拠点整備課を設置

今後、事業が増大する区画整理事業や防災集団移転事業に対応するとともに、第二次復興計画に基づいた各種政策の具現化を推進します。

### ② 放射線管理に関する業務を健康福祉課放射線管理係に統合

これまで生活環境課原子力対策係で行われていた放射線勉強会や線量計の貸し出しなどの業務を健康福祉課放射線管理係に一元化することで、健康管理手帳との整合性を図ります。

### ③ 生活廃棄物や環境衛生に関する業務を復興推進課除染対策係に統合

これまで生活環境課環境衛生係で行われていた生活廃棄物や環境衛生に関する業務を富岡町内に近い復興推進課除染対策係に一元化することで、復興業務をさらに加速させ、町民サービスの向上を図ります。生活環境課は安全対策課に改め、町民の生命、財産を守る業務に特化します。

### ④ 広報機能、秘書機能を強化

戦略的な情報発信や町長の秘書機能強化のため、企画課広聴広報係を総務課秘書広報係とします。

## 一般会計

平成26年度  
補正予算

# 総額 114億5902万円に

《5073万円を減額補正》

## 総括

各議員は事業費を安易に減額するのではなく、しっかりと精査し、最大の効果を上げるための事業の遂行を各課に求めました。

さらに、今後避けて通れない高齢者福祉問題について、富岡町単独で対応するのではなく、双葉郡の各町村が連携して問題に取り組む必要があると訴えました。

平成26年度補正予算  
賛成10 反対3 原案可決

## 討論

### 〔老人ホーム施設管理委託料の増額について〕

#### 反対意見

積算根拠にあいまいな部分があり、根本的な解決策が示されていない。

#### 賛成意見

問題点の提示と課題に対する今後の改善策が示された。

# 議員が切り込む!!

# 質疑応答



**問** 申請が少なかった理由は。

**答** 産業振興課長  
補助の対象が固定設備と限定されていたために、申請しづらかったと感じています。

**問** PR不足だったのでは。

**答** 産業振興課長  
事業再開希望者には商工会と連携して周知していましたが、次年度はさらなる周知を図るとともに、事業者の希望に沿えるような補助対象要件の緩和を検討しています。

## 《老人ホーム施設管理委託料 1368万円増額》

**問** 郡山市にある東風荘において、定員より10名も欠員であるのに増額補正をする理由は。

**答** 健康福祉課長  
介護を必要とする入所者が多く、福祉サービスのの労力提供のための人件費が多くなること、また欠員分の措置費が国から支給されないことから増額するものです。

今後は、関係各所との連携をさらに密にしなが、入所者の増を図るとともに、施設の経費削減の指導をしていきます。

**問** 富岡町だけで対応できる問題ではない。郡立の施設など、広域的な展開が必要では。

**答** 健康福祉課長  
郡内他町村の動向を見極めながら、お互いに協力できる体制を築いていきます。



東風荘(郡山市菜根)



遠藤 一善 議員

# 問 今後の森林活用施策は

## 答 近隣自治体と連携し新たな需要拡大を図る



大倉山小学生森林教室風景(平成20年度)

**問** 町内の森林資源の除染が進まず、手入れが出来ない現状をどう考えているか。

**答** 町長 本町の森林面積は町全体の約6割を占めています。原発事故による避難の長期化により、下刈り、除伐などの作業の実施が困難な状況であり、森林保育を適切に実施しなければ荒廃森林となってしまうと危惧しています。

さらにはイノベーション・コースト構想における間伐材利用での新技術の導入や木質バイオマスの推進などについて、本町単独の問題として捉えるのではなく、近隣の自治体と連携し、木材の新たな需要拡大が図られるよう努めます。

また、森林資源を次世代に伝えることは重要であり、将来の森林環境整備を担う子供たちが森林について楽しく学び、森林を守り育てる意識の醸成を図ることを目的として、平成27年度において森林環境学習を実施する予定です。

**問** バイオマスタウン構想に対する町の考えは

**答** 産業振興課長 木質バイオマスに關しては、森林全体から発生するというところで有効な資源であることは確かですが、小さいエリアの中では難しいと考えています。

**問** イノベーション・コースト構想中のバイオマスタウン構想に対する町の考えは

**答** 今後、今ある森林資源を有効活用していく方法として、集団化、集約化が必要であると考えています。そうした中で富岡町にあった双葉地方森林組合を核として、双葉地方全体で森林資源の活用ということを考えております。

イノベーション・コースト構想の中で今後検討されるということは聞いていますので、双葉郡内の資源も参加できる可能性を探りたいと考えています。

# スバリー!! 町政を問う

## 2議員が質問

3月定例会の一般質問に2議員が登壇し、町の対応や考えなどを問いました。この紙面では、質問した順に質疑応答の要点をお知らせします。

### 1 遠藤 一善 議員 ..... 7

1. 森林資源の今後について

### 2 堀本 典明 議員 ..... 8

1. 帰町について  
2. 情報発信について



動画配信中!

# 《管理型埋立処分場計画案》 第4回 質疑

平成27年2月19日に開催した全員協議会で、町内の産業廃棄物処分場を活用した特定廃棄物の埋立処分事業にかかる国の対応について、環境省より説明を受けました。

管理型埋立処分場計画案については、昨年数回にわたって開催された議会や住民説明会で多くの意見が出されており、国の回答が待たれていたところです。

## 【提出していた意見と今回示された国の回答】

### ①施設の立地場所

- Q.** 線量の低い地域にある処分場を活用するのではなく、町内の線量の高い地域に新たに遮断型処理施設を建設すべきでは。
- A.** 広大な面積の土地を確保することが不可能であり、整備完了までに長期間を要することから、新たな施設の建設は困難である。

### ②埋立方法・埋立安定性

- Q.** 提示された埋立方法だと、既存廃棄物層や積み上げた廃棄物層に崩れやすべりが生じる懸念があるが。
- A.** 更なる安全、安心の確保の観点から、埋立方法に関する追加対策を実施する。
- ・既存廃棄物の補強対策
  - ・セメント固型化しない廃棄物の埋立安定性の向上
  - ・埋立廃棄物層全体の補強対策

### ③モニタリング

- Q.** 埋立処分による外部への放射能の影響が心配なので、モニタリングを徹底すべきでは。
- A.** 更なる安全、安心の確保の観点から、モニタリングに関する追加対策を実施する。
- ・大気・地下水の放射能濃度の連続モニタリング
  - ・モニタリング地点・項目の追加
  - ・地域住民参加によるモニタリング
  - ・施設点検及び災害対応時の充実

### ④国の責任の明確化

- Q.** 民間事業者が所有する施設で事業を行うことに不安があるため、処分場を国有化すべきでは。
- A.** 国の責任をさらに明確にするため、処分場の国有化を検討している。

## 【議員の意見】

- ・高線量地区への新たな施設の建設について、時間がかかるとか、前例がないからできないというのは理由にならない。真剣にこの問題を考えるのであれば、新たな施設の形を生み出すぐらいの気概を見せてほしい。
- ・現在想定しているような、放射性廃棄物を野積みにするような埋立方法は承認できない。コンクリート遮へい型のしっかりとした構造の施設への埋立を望む。
- ・セメント固型化するものとしがないものがあるが、有害物質が含まれた震災がれきを本当に分別して埋立できるのか。安全性が担保できていない。
- ・新たな施設の建設は困難であるとの回答は残念だが、埋立方法やモニタリング方法など、安全管理対策については前進が見られる。既存施設の国有化の件も含めて、今後も検討が必要であると感じる。



堀本 典明 議員

## 問 区域別の帰還か全町一斉帰還か

## 答 帰還を望む全ての町民がともに戻れるよう取り組む

**問** 除染、インフラ復旧が進み、放射線量が低減されれば、帰還の判断をする時期が来るが、3区域に分かれている当町での帰還について区域別の帰還か、全町一斉帰還か現在の町の考えは。

**答** 町長 帰還に対する考え方は、廃炉作業の安全性の確保や除染による線量の低減、インフラ施設の復旧、医療、公共交通機関、商店などの生活関連サービスの再開など町で生活できる環境が整うことが必須条件であります。帰還についてこれらの状況を検証した上で町民に情報を発信し、意見を伺いながら判断することになります。

**問** 現段階では、帰還困難区域の除染時期が示されていないため、環境が整った区域に災害公営住宅を建設し、帰還を望む全ての町民がともに町へ戻れるよう取り組んでまいりたいと考えています。

**問** 避難指示解除準備区域だけ解除することはあるのか。

**答** 町長 町民が地域ごとに、区域ごとに帰るということであれば、町としての行政が困難をきわめると考えます。現段階においては避難指示解除準備区域だけを先行して解除するというような考えはしていません。



バリケードで分断された桜並木

**問** 平成29年4月に帰還判断をするのか。

**答** 町長 当然その時期がありきではなく、除染が済んだところから実証していくため、その時期が本当に帰れるのかどうかというのは、今の段階では判断できない状況です。

**問** 動画などを最大限利用した情報発信をすべきでは、町への思いを持ち続けていただけるよう情報提供を行っていき

**問** 現在の町の状況や取り組み、イベントなど、町民に一番知らせたいことを、動画等を最大限に利用して情報発信すべきでは。

**問** 同じ情報を多くの町民が受取れるよう、どのような情報を求めているのか感じ取る工夫をすべきでは。

**答** 町長 『さずなを維持するために』をキーワードに町内25カ所に設置したライブカメラの映像を簡単にご覧いただける仕組みを取りいれたり、現在は町内の現状や復興状況を皆様へごらんいただけるよう動画編集を行っております。

**答** 企画課長 使っている方から実際に要望をお聞きするのが一番大事ですし、情報発信力の向上にもつながると思いますので、そういう手段も考えていきたいと思っております。

# 《太陽光事業を町の復興に向けた布石へ》

## 全員協議会 ③

### 【再生可能エネルギーを取り巻く情勢】

・再生可能エネルギー固定価格買取制度の見直し(平成26年度末)により、買取価格の大幅な下落が想定される。  
(32円/KWh→20円台/KWh)

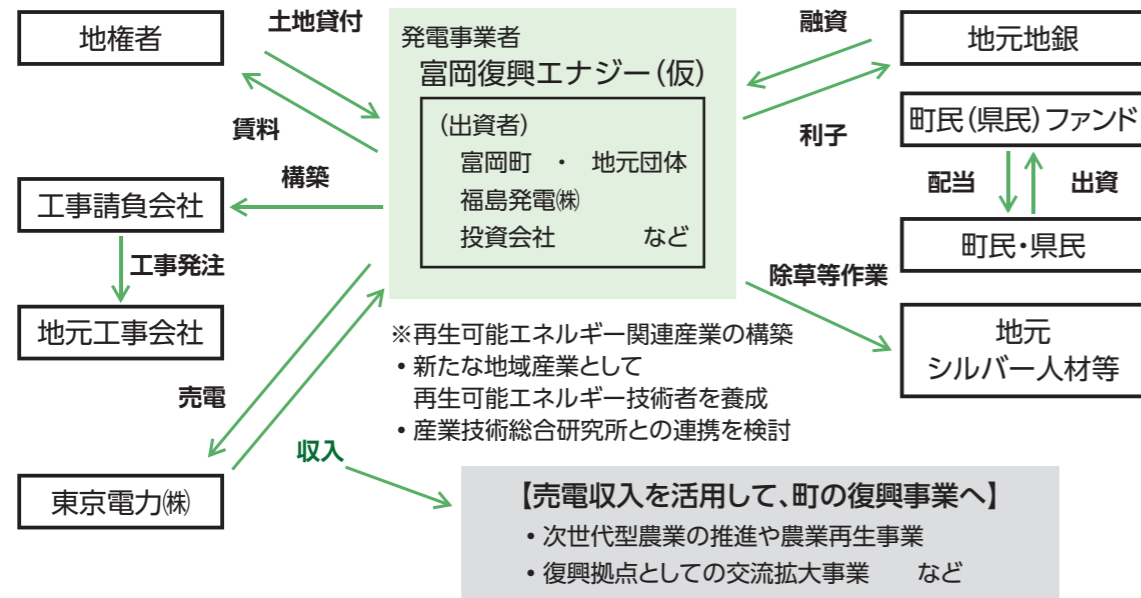
### 【施設設置場所に求められる条件】

- ・接続保留問題を回避するため、東京電力の送変電設備を活用できること。
- ・県が求める規模 20MW(約40ha)の土地を確保できること。(20年間を予定)

### 大石原地区・下千里地区を設置場所として選定する案を了承

- ①十分な日照時間 ②変電所・送電線に近い ③敷地面積40ha以上 等の条件をクリア

### 【本事業により期待される効果】



**問** 町長 本事業の利益は町の復興に充当するという理念がありますので、利潤を追求する企業ではなく、町の意向を汲む企業を選定したいと考えます。

**答** 町長 本事業の利益は町の復興に充当するという理念がありますので、利潤を追求する企業ではなく、町の意向を汲む企業を選定したいと考えます。

**問** 出資者の選定 本事業を実施するために設立する会社の出資者選定は慎重に行う必要があると思いますが。

**答** 県企画調整部

中心となる出資者は、しっかりとした発電事業を20年間行える体力と技術力と資金力を持つパートナーであるべきという考えのもと、県が責任を持って選定します。地元利益を還元させるために、富岡町や地元企業と相談しながら会社を構成したいと考えます。

**問** 今後の土地利用についてのご考えは。

**答** 副町長

今後の土地利用のあり方を議論していくのは富岡町の将来にとっても重要であると認識しています。第二次復興計画検討委員会や議会など、様々な機会を捉えて慎重かつ丁寧に議論を重ねたいと考えます。

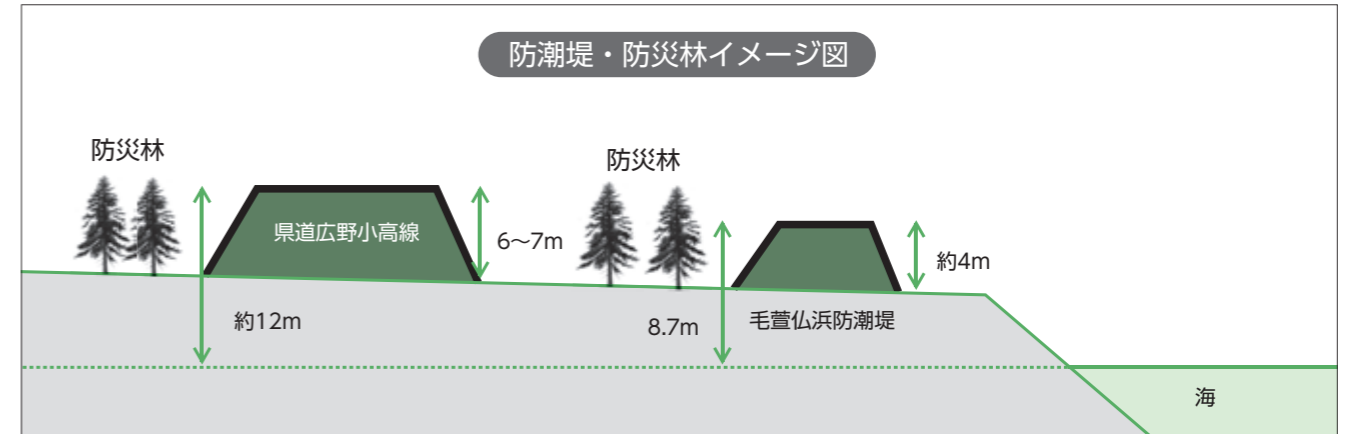
**答** 企画課長

地域振興のための土地活用や将来的な農業振興を見据えた農地保全等のバランスが重要であると考えます。復興計画で話し合われている町民が望む将来的な町の姿に対する意向を踏まえながら、土地利用計画を策定したいと考えます。

## 全員協議会 ②

平成27年1月30日に開催した全員協議会で、津波浸水区域内における県事業及び地域主導型太陽光発電事業について、県より説明を受けました。

# 《環境や景観を損なわない防潮堤の建設を》



### 【主な災害復旧事業】

- ・富岡漁港から紅葉川河口周辺まで約1,100mの堤防のかさ上げ
- ・富岡川・もみじ川の護岸工事
- ・子安橋から第二原子力発電所入り口に至る道路(浜街道)約3,300mの道路改良工事
- ・富岡漁港進入路部分の堤防建設、漁港に降りるための取り付け道路の整備
- ・林帯幅200mの防災林の整備(クロマツ)

**問** 防災という観点だけでなく、海に親しめる環境や景観に配慮した整備計画にしてほしいが。

**答** 富岡土木事務所

今回の整備計画でも、堤防をかさ上げするためにもとの砂浜を埋めるといふ方法ではなく、従前の砂浜がそのまま残るような形をとっています。防災機能を回復させるのが第一目標にはなりますが、今後の海浜利用についても十分に配慮し、皆様のご意見を聞きながら整備を進めていきたいと考えます。

**問** 広野小高線はいづら開通するのか。

**答** 富岡土木事務所

富岡町より南側は、平成28年度には概ね供用できる状態になると考えています。北側は、帰還困難区域内ということもありますので、今後の方針を検討している段階です。

**問** 整備される防災林のイメージと効果は。

**答** 相双農林事務所

防災林の幅は200メートル。塩害に強いと言われる松を1ヘクタール当たり1万本、1メートル間隔で植栽しています。これが30年、40年経つとある程度の高さの木になり、津波

が来た時に30%ほどの減水効果が発揮される計算です。

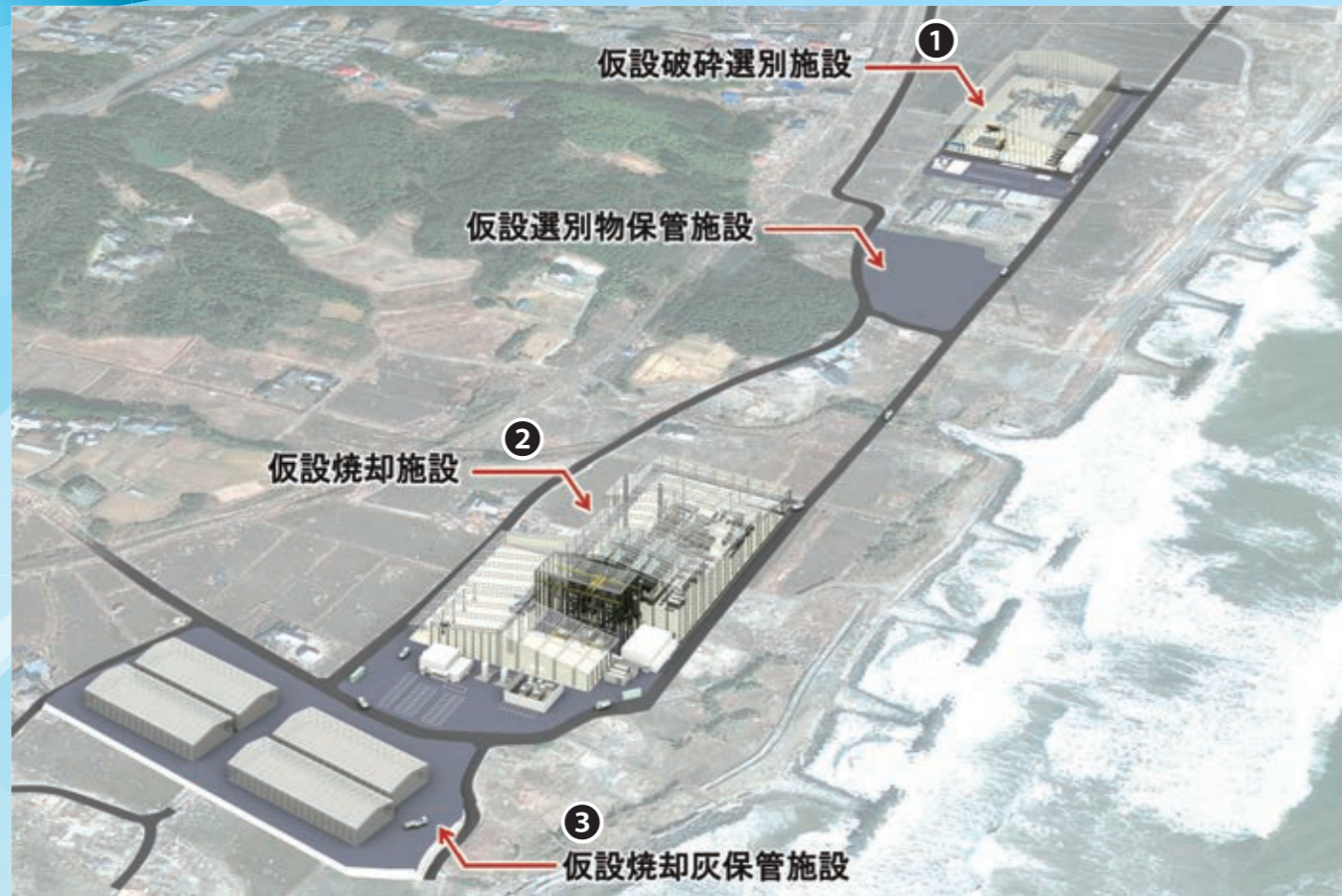
**問** 松くい虫の被害が心配だが。

**答** 相双農林事務所

松くい虫に抵抗性のある松を選別して植栽しています。潮風に一番強いとされるクロマツを主林木として生育させ、環境を整えば、景観にあった樹木も植栽するという方法で、防災林を造成していきたいと考えます。

# 現地視察

# 放射性廃棄物処理施設



※仮設焼却施設と仮設破碎選別施設は内部の様子が見えるようテントを透かして表現しています。

平成27年2月19日、富岡町議会は富岡町毛萱地区に建設された放射性廃棄物処理施設を視察しました。

焼却施設、破碎選別施設、保管施設等で構成されるこの施設には、町内の津波がれきや廃棄する家財類、除染廃棄物などが運び込まれます。

3月19日に火入れ式が行われ、既に稼働しています。

## ① 破碎選別施設



廃棄物を破碎し、可燃物や不燃物の各品目に選別する施設。金属くずなど、再利用可能な物を取り出し、廃棄物の量を減らす。施設全体を密閉性の高い大型テントで覆い、処理過程で発生する粉じんの外部への飛散を防止する。床面は、コンクリートで舗装し、汚水が地下に浸透せず吸収できる構造とする。

## ③ 保管施設



### 【灰保管施設】

焼却灰を封入したフレキシブルコンテナを大型テント内で保管する。床面をコンクリートで舗装し、焼却灰に含まれる放射性物質などの有害物質の飛散・流失・地下浸透を防止するとともに、敷地境界に遮へい壁を設ける。

### 【選別物保管施設】

破碎選別施設で選別された不燃物を保管する。遮水シートを設置し、有害物質の地下浸透を防止する。どちらの保管施設も、敷地境界の空間線量率と地下水の放射性物質濃度を監視し、異常がないことを確認する。

## ② 焼却施設



可燃物を焼却する施設。排ガス処理には、ろ過式集じん装置(バグフィルタ)を2段設け、排ガス中の放射性セシウム等を除去する。排ガスを24時間連続監視し、排ガス処理設備に異常がないことを確認する。主灰及び飛灰は、薬剤・セメント等を添加し安定化された後、フレキシブルコンテナに封入される。施設の屋根、床等の構造は破碎選別施設と同じ。

## 産業復興常任委員会

### Q 農地再生のための除染後の目標値はあるか。

A 農林水産省の営農指針の中に、土中の放射線濃度が5000ベクレル以下という基準があります。町としては、土のはぎ取りによってこの基準をクリアすることを国に求めてきました。それによって、『はぎ取りは5cm』と決められていたものが、土中の線量が高い場合には、7cm、10cmのはぎ取りが認められたので、しっかりとした作業の徹底を国に求めていく考えです。

【復興推進課】

### Q 今後の農地の利活用について、どのように考えているか。

A 太陽光発電施設や産業集積拠点としての農地の活用も視野にいれながら、一方で、農地を守らなければならないという思いもあります。今後、農地の利活用については、富岡町の土地利用計画や復興計画などを踏まえながら、総合的に判断していかなければならないと考えます。

【農業委員会】

### Q インフラ復旧工事と除染工事との調整は。

A 町・富岡土木事務所・水道企業団・環境省で会議の場を設けて、日程調整をしています。今後も緊密な連絡調整を行いますが、復旧工事と除染作業が重なった場合には除染作業を優先させる考えです。

【復旧課】

### Q 避難先の住民と交流が図れるような支援策は。

A 避難先での今の生活も大切にしていきたいという思いは強く持っています。今後、地域の方と一緒に参加できるようなお茶会等のイベントを開催し、地域のコミュニティに参加する一助となるような支援ができればと考えています。

【生活支援課】

常任委員会とは、本会議前に各課の事務の執行状況それぞれの常任委員会が調査し

## 総務常任委員会

### Q 町政60周年記念式典の概要は。

A 場所はまだ決定していませんが、式典を開催し、町民の皆様にお集まりいただく考えです。式典とは別に、記念品を全戸に配布する予定です。

【総務課】

### Q 原子力災害により、町が被った損害の賠償は進んでいるか。

A 平成23年度分の損害として13億円請求し、1億3000万円を受領しています。現在も交渉中ですが、賠償は進んでいません。まずは町民の皆様の賠償を優先しながらも、町としての損害もしっかりと賠償が受けられるように、今後も交渉していきます。

【総務課】

### Q 大石原・下千里地区以外から、太陽光発電設備設置の要望があった場合の対応は。

A 現在も他の地区から農地転用や相続税に関することなど、様々な要望や相談が寄せられています。町として、ひとつひとつの要望、相談に丁寧に応じていく考えです。

【企画課】

### Q 仮設診療所整備計画の概要は。

A 町内に内科の診療所を整備する計画です。平成27年度に調査設計をし、平成28年度に建設。同年度秋頃の開所を目指して、震災前富岡町内で開業されていた医師と協議を重ねています。

【健康福祉課】

議案などを事前に審査したり、などを調査する場です。た主な事業について報告します。



平成27年1月30日に開催した特別委員会で、2月に賠償の終期をむかえる営業損害及び就労不能損害に対する今後の国の考えを伺いました。

### 《営業損害》

**【対象者】**

個人事業主と商圏の喪失が認められる中小法人

**【今後の賠償方針】**

- ①減収率100%の逸失利益1年分を定型的に賠償
- ②追加的費用(移転費用・償却資産の廃棄費用等)の賠償
- ③「グループ補助金」を始めとした支援策を実施

### 《就労不能損害》

**【対象者】**

原発事故により就労が困難になった方で、就労意思がある方

**【今後の賠償方針】**

- ①やむを得ない事情により就労が困難な方は、その事情に応じて個別に対応
- ②避難指示解除後、帰還したことにより、減収となった方は減収分を追加で賠償
- ③避難により体調を崩し、就労できなくなった方は「生命・身体的損害による就労不能損害」として賠償

## 地域に根差した個人事業主に配慮を

**問** 長年地域に根差して商売をしてきた事業者が廃業に追い込まれている。追加賠償1年で一方的に賠償を打ち切るののは酷ではないか。

**答 経済産業省**  
商圏の喪失による損害の算定は非常に難しいものです。できるだけ「簡便に」「公平性を保ちながら」という観点で、今回1年分を定型的に追加賠償するという案を提示しました。

**問** グループを組まないで補助金が出ないということ自体がおかしい。個人にも補助金が出せる仕組みが必要では。

**答 経済産業省**  
当初は、個人事業者が個々で事業を再開するよりも、事業者がある程度まとまった方が、より競争力があがるという趣旨で始まった支援制度です。

**問** 賠償内容を審議し、素案を作る検討会のメンバーとして、被害を受けた自治体の長等に参加させることはできないか。

**答 経済産業省**  
素案を作成する段階から、対象となる自治体の長に参加していただくというやり方については、今後検討していきたいと考えます。今回の素案は、各事業者や商工会等を回り、多くのご意見をお聞きしながら作成しています。至らな部分には議会や説明会等でさらにご意見をお聞きし、検討を重ねたいと考えています。

しかし、この1年という期間が妥当なのかについては、今後さらに検討が必要であると考えています。

平成27年3月3日に開催した特別委員会で、福島第一原発において、2号機原子炉建屋タンク屋上から流れた高濃度放射性物質を含む雨水が海洋に流出していた問題とこの問題が十分に公表されていなかったことについて、東京電力を厳しく追及しました。

あわせて、福島第一、第二、柏崎刈羽原発で人身災害が続いていることから、事故の概要説明と今後の安全対策について説明を受けました。

## 汚染水海洋流出問題の

### 今後の対応を問う

**問** K排水路の汚染原因が建物屋上から流れ込む雨水なのであれば、建物に屋根をかけて屋上に雨をためない対策が一番効果的だと考えるが。

**答 東京電力株**

問題発生箇所は線量が高い場所であり、建物に屋根をかけるという作業がすぐにはできませんので、応急的な対策として、ゼオライト土のうとブルーシートを敷いて雨水の流入を防いでいます。今後、抜本的な対策として、屋上部の放射性物質を取り除く作業を行います。

**問** 放射性物質の流出状況がきちんと管理されていないことと、それがスムーズに公表されないことが問題だと考えるが。

**答 東京電力株**

状況の把握、原因の追究をしっかりと行うとともに、今回の汚染水海洋流出問題の公表のあり方について、指摘されたことを重く受け止め、反省し、今後は判明した時点でわかりやすく公表することを肝に銘じて取り組んでいきます。

## たび重なる人身災害の原因と安全管理対策を問う

**問** 作業工程が厳しく、人員も不足していたために起こった災害ではないのか。

**答 東京電力株**

作業員からの聞き取りでも作業がきつかったという言葉は出てきませんでしたし、作業工程が特段厳しかったという認識はありませんでした。しかし福島第一、第二、柏崎刈羽原発でこのような事故が連続して起こっていますので、作業員には工程優先ではないことをもう一度しっかりと認識させたいと考えます。

**問** 現場で働く作業員の管理と手配がうまくいっていないのではないか。

**答 東京電力株**

仕事に先が見えないと作業員も集まらないという現場の声を聞き、核となる作業については競争発注をやめました。元請け業者にあらかじめ3年間の仕事内容を提示し、作業員を確保してもらうことで、熟練工の育成に努めています。また、作業員が安心感を持って作業ができるような環境の整備にも引き続き努めます。



建物屋上の雨水状況

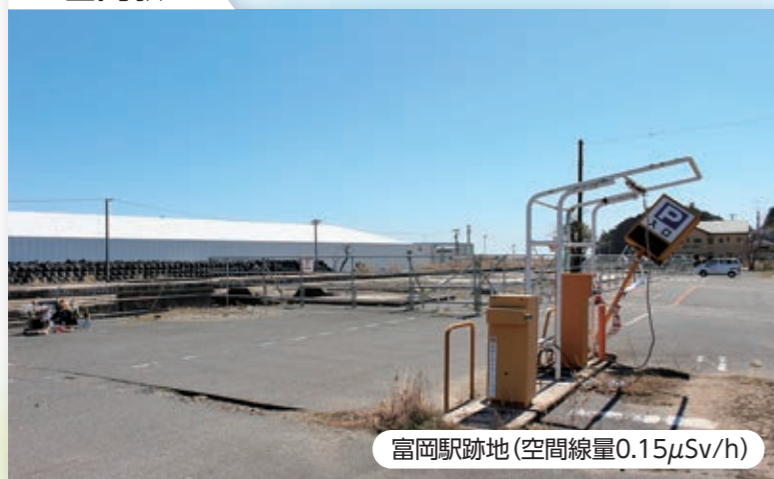
# 復興へのあゆみ

Step.2

昨年各地で開催した意見交換会や様々な『富岡町から遠く離れた土地で長く避難生活を送っていると、皆様の先が見えない不安を私たち編集委員が現地に行き、

イベント等で、町民の方から多く聞かれるのは『富岡町が今どうなっているのかわからない』という声です。少しでも解消できるように、富岡町の現状をお伝えします。

### 3 富岡駅



富岡駅跡地 (空間線量0.15μSv/h)

津波により大きな被害を受けた駅舎は取り壊されました。現在、駅舎移転の協議を進めています。

### 4 夜の森桜並木



富岡第二中学校前 (空間線量0.95μSv/h)

桜並木を保全するため、手入れをしました。



### 1 富岡町役場庁舎



庁舎正面 (空間線量0.68μSv/h)

今年度大規模な改修工事を行います。



庁舎玄関 (空間線量0.11μSv/h)

### 2 岡内東児童公園



(空間線量0.29μSv/h)

署員の勇気と震災の記憶を後世に伝えます。

# 奨励賞を受賞

全国町村議会議長会が主催する第29回町村議会広報全国コンクールにおいて、議会だより第176号が表紙・写真部門で奨励賞を受賞しました。

これからも編集員一同、『やさしく、わかりやすく、迅速に』を心がけ、町民の皆様に愛読される議会だよりとなるよう、編集に努めてまいります。今後とも、ご支援ご協力をお願いいたします。



## 「請願」と「陳情」

町民の皆さんが町政についての意見やしてほしいことを文書にして、直接町議会に提出する制度です。「請願」の申請に特別な様式はありません。表題(件名)、要望理由、要望事項、提出年月日、氏名(法人、団体は名称と代表者名)、紹介議員を記載して、押印されたものを議長宛に提出してください。紹介議員のないものは、「陳情」として取り扱います。

### 《請願書提出後の流れ》

- 請願書を提出 ⇒ 所属する常任委員会で審議 ⇒ 「採択」「不採択」の決定
- 常任委員会で「採択」された請願 ⇒ 本会議で審議 ⇒ 本会議で「採択」 ⇒ 町長や関係行政庁に送付し、実現を要望(審査結果は請願者にも通知されます)

※「陳情」は全議員、町執行部に写しを配布します。

- 委員長 高野 泰
- 副委員長 堀本典明
- 委員 早川恒久
- 委員 遠藤一善
- 委員 山本育男
- 委員 渡辺英博

### 議会報編集特別委員会

- 発行責任者 塚野芳美
- 議長 塚野芳美

### “I believe in future”

桜の花も散り、新緑の季節に向かうこの頃、復興への希望が大きく芽生えてきますね。今年度、過去最大の大型予算を可決しました。ふるさとの復興・復興が大きく前進し、新たなまちづくりへ、挑戦していく年にしたいものです。

表紙は、富岡小学校の入学式です。二年ぶりのピカピカの一年生、元気良くとても素直な子どもたちです。たった二人の同級生ですが、仲良く明るい学校生活を送ってほしいものです。ガンバレすべての富岡っ子！

子は国の宝、町の復興には欠かせない、大切な、大切な宝です。私たちが、子供たちの未来を見守っていききたいものです。

(山本育男)



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用しています。



富岡町公式ホームページ



富岡町

で 検索